

1年間、何事もなく、皆様のご協力の下、無事終わらせていただきまして、ありがとうございました。

○国際奉仕委員会 高木美香委員長
カルガリーの国際大会に行きたいとチャレンジはしたのですが、こちらにつきましても、募集人数等の都合で残念ながら、参加することができませんでした。

リズモー西RCとのつながりにつきましては、30年になるということをお聞きしていただきました。そういった状況の中で考えましたのが、私にできる限りのことをしよう、連絡を取ってこうということでした。

ただし、平均年齢につきましては、大和高田RCも70歳程度ですが、リズモー西RCにおかれましては80歳という状況です。Zoom会議の日取りを決めましても、当日になったら入院しておられたりということもございました。大和高田市の姉妹都市の関係から問い合わせをいたしまして、やっとうまいこと連絡がついたと思ったら、その担当の方が退任されたという連絡があったりですとか、いろいろと難しい状態が続いております。

ですが、何かしたいと思っておりますので、来年も国際奉仕委員の一人として、リズモー西RCとの関係をもう一回戻らせていただいて、65周年に当たって何らかの報告ができるように頑張っていきたいと思っております。今年度1年どうもありがとうございました。

○米山奨学会委員会 松村實昭委員長
当委員会は、米山奨学会についての理解と協力をお願いするという方針で活動してまいりました。毎年10月が米山月間でございますので、昨年は10月29日に、あすかRCさんでお世話をされている、ベトナムからの奨学生グエン・ミン・ヒウさんにお越しいただきましてお話をいただきました。彼は、観光事業に携わりたいということで、旅行を通じて国際交流をしたいのだからということをお話しされました。

米山奨学会につきましてはいろいろご意見がありまして、本当に日本との国際交流、架け橋になっているのかというようなご批判もございます。その中で、これから寄附の在り方についても、皆さんのご意見をいただいて考えていかないといけないところがございます。

今回、ご縁をいただいてお話しいただいた彼につきましては、旅行を通じて国際交流に力を入れたいと具体的に言うておりましたので、本当に日本との架け橋になってくれたらうれしいなというふうに思っている次第でございます。

○親睦委員会 桑 雅宣委員長
特に、樫根会員、下村会員、田中会員、吉村忠雄会員におかれましては、重鎮にもかかわりませず、青いたすきをかけて、エレベーター前で立っていただきまして、非常に引き締まった受付ができたと思います。ありがとうございました。

親睦委員会の活動としましては、11月10日の家



族会を実施させていただきました。55周年から来年の65周年にかけて、今までどんな家族会をしていたかなと調べてみますと、周年の55周年と60周年以外はみんなディナーショーが大半でした。そこで、今年最後は「手に手つないで」をやりたいと思いましたので、できる限り手作り例会という形を取りました。第1部は五木ひろしさんと坂本冬美さんのショーを、第2部は都ホテルで懇親会をさせていただきました。会員につきましては、1部は36名がお越しになり、2部から来られましたのが32名ということでした。全体として、久しぶりに100名以上の参加者をいただいていた大盛況に終わったかなと思います。例えは近場のほうが集まりやすいのかなという印象も受けましたので、これもまた次年度の65周年の参考にさせていただければと思います。

その次は、本年度の4月6日、地区大会への出席をいたしました。こちらに参加しませんが皆出席扱いにならないということになりましたので、初めて地区大会で受付をしたところ、89名の会員中、登録者が56名、実際に来ていただいた方が47名ということで、たくさんの方に来ていただいて、非常に良かったなと思います。

最後になりますけれども、来年は65周年ということで、今年のメンバーから田中会員が委員長、樫根会員が副委員長をされるということですので、引き続き親睦委員会のほうをよろしく願いいたします。

○研修・規定委員会 廣橋健次郎委員長
方針は、地区委員会の指導の下、クラブにおいて包括的な研修計画を企画・実施する、RI定款・細則など変更があれば、クラブの実績に沿って改正案を作成し、理事会に提出することに努めるということでした。今年度は、特に変更がございませんでしたので、改正案を提出することもありませんでした。

○プログラム委員会 鶴山洋子委員長

まず、特別にお礼を申し上げたい方々がいらっしゃいます。堀川会員には、当日の朝にお願いするというめっちゃくちゃなご依頼を引き受けていただき、本当に救われました。そして、佐藤会員、牧浦会員、山下会員、甲村会員、木下会員、世古会員、皆さんの大切なご友人をご紹介いただきまして、ありがとうございました。そして、池木会長、いつもそばにいて見守っていただきましてありがとうございました。

9月にお越しいただいた小説家の夏木志朋さんが、6月11日発表の直木賞にノミネートされたそうです。本当にうれしく思っております。

いろんな方との巡り合いと関わりがございましたが、親睦委員会の方が丁寧にご対応いただいたり、S.A.A.の方がきめ細やかな準備をしてくださって、皆さんのお力添えで活動することができたと思っています。今まで生きていた中でも最高の1年でした。どうもありがとうございました。

2024-25年度 第2650地区スローガン
持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable! Learn together Act together

第2650地区〔1961.3.28創立〕

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第41回(通算3040回)2025年(令和7年)6月24日号

本日の例会(6月24日)
会長・副会長・幹事退任挨拶

次回の例会(7月1日)
会長・副会長・幹事就任挨拶

6月17日の例会報告 会長の時間

いよいよ来週で今年度も最終回となります。肩の荷が下ろせそうで、大変気が楽になってきました。

さて、今日は私見ではございますが、真のロータリアンとしてふさわしいと感じるお話をしたいと思います。2004年にもうお亡くなりになられたのですが、『清貧の思想』という著書で知られた中野孝次という小説家がおられたのをご存じでしょうか。

彼は、「日本にはかつて、貧しくとも清らか、いわゆる清貧という美しい言葉がありました」と言っております。それは所有するという欲望を最小限にすることで、内なる自由を飛躍させるという逆説的な考え方です。この本が書かれたのはちょうどバブル景気の頃であり、その当時、ある新聞に「何でもある日本が貧しく、何にもないモンゴルが豊かに見えた」という記事が載っておりました。

私たち大和高田RCは、今年度初めの会員平均年齢が68.2歳でした。あれから約1年、現在69.2歳くらいになっているでしょう。クラブ平均年齢が約70歳、古稀を迎えようとしております。そこで、「人生、心の豊かさを求め、いい歳の取り方」という記事がございましたので、ご紹介したいと思います。

「怒りをやめて、感謝で人を動かす。否定をやめて理解しようと歩み寄る。自慢話をやめて、失敗談を伝える。干渉をやめて、任せる勇気を持つ。無愛想をやめて、笑顔で過ごす。偏見をやめて、謙虚に学ぶ。もらうをやめて、与える意識を持つ。孤独をやめて、一期一会を大切にす。一つでも二つでも取り入れることができましたら、老後の人生、人との絆がより強くなって、一層心の豊かさが増していくのではないかと、自分なりにそう思った次第であります。

幹事報告

◎本日は委員長活動報告(2)となっております。委員長の皆様よろしくお願いたします。

次年度幹事報告

◎次週例会終了後、次年度の理事会を行いますので、理事の方は4階会議室にお集まりください。
◎国際ロータリーの次年度会長予定者が急遽ご辞退なさいました。したがって、まだいろんなことが決まっておきませんので、クラブ概況報告書の配布につきましてもストップしている状況です。ご了承くださいませようお願申し上げます。

誕生日祝

中堀克己会員(6月22日)
委員会報告及びその他報告
○趣味の会委員会 垣本喜己委員長
6月19日(木)第3回趣味の会ゴルフコンペを開催いたします。場所は、花吉野カンツリー倶楽部です。1組目のスタート時間は9時12分となっております。

ニコニコ箱

- ・今年度も来週例会で最終回となりますが、皆様、よろしくお願いたします。 池木啓仁会員
- ・各委員長様、委員長活動報告、よろしくお願いたします。 丸野正徳会員
- ・来週で最終例会ですね。1年間お疲れまでした。 村島靖基会員
- ・(1週早いですが)池木会長をはじめ役員及び理事会のメンバーの皆様お疲れさまでございました。 藤井宏典会員
- ・池田先生、このたびは大変お世話になり、ありがとうございました。 河村憲一会員
- ・誕生日祝を頂いて。 中堀克己会員

委員長活動報告(2)

○ロータリー財団委員会 松村裕玄委員長
方針といたしまして、ロータリー財団は国際ロータリーの活動において様々な支援を行うものであることを会員に十分に認識していただき、その財源となる寄附をお願することとしました。

実施項目といたしまして、地区からの要望である年次基金、ポリオプラス基金、恒久基金等の寄附の推

4つのテスト〔言行はこれに照らしてから〕
1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

出席報告	会員総数	出席義務会員数	義務会員出席数	義務会員欠席数	義務会員MU	出席免除会員数	免除会員出席数	免除会員MU	出席率
6月17日	87	55	49	6	2	32	24	1	95.00%
6月10日	87	55	49	6	3	32	22	1	96.15%
6月3日	87	55	51	4	0	32	24	1	95.00%

※食品ロスの削減に努めましょう。(6月10日の弁当残数は4個)

進に努めました。ポリオプラス基金に関しては、皆様のご協力で34万9000円を寄附させていただきました。

地区補助金交付に該当する事業を検討するということにつきましては、本年度は社会奉仕委員会が開催しました、大和高田歴史ウォークを開催するに当たり、補助金申請をいたしました。こちらは2560ドル、日本円で41万1000円の補助金をいただくことができました。

○出席委員会 志賀正博委員長
喫緊の課題として取り組みましたのがフードロスの削減でございます。例会を欠席するときには連絡をしていただきますよう、例会の出席報告の際にご協力をお願いすることで、フードロスの削減を実現しました。具体的に申し上げますと、昨年12月末から例会の出席報告時に、お弁当廃棄数と欠席連絡へのご協力をお願いしたところ、7月から12月の1例会当たりの平均お弁当廃棄数5.3個に対しまして、1月から先週までは3.2個、約2.1個のフードロス削減となりました。これも皆様のご協力の賜物であり、この場をお借りして御礼を申し上げます。

出席委員長という非常に荷が重い大役ではございましたが、何とか完走できたのも、皆様のご支援、ご協力があったことと思います。改めまして、皆様にご感謝を申し上げます。

○ニコニコ箱委員会 清水良彦委員長
皆様方の善意の寄附が今年度はたくさん集まりまして、予定しておりました予算額を少し超えることができました。これは本当に皆様のご協力のおかげと喜んでおります。

金内会員が退会されまして、委員の数が減り困っておりましたので、上田会員と吉井会員をお願いして、何とかクリアすることができました。お二人には大変感謝しております。

また、来年度もたくさん集めないといけないということで緊張なさっているようですが、これはあくまでも善意の寄附ということでございますので、皆さん方のご協力、よろしくをお願いいたします。

○健康管理委員会 白井健雄委員長
方針は、大和高田RCの会員の皆様、それからご家族の皆様の健康維持に寄与することといたしました。実施項目といたしましては、例年どおり、昨年8月葛城メディカルセンターにて人間ドック形式の健康診断をさせていただきました。会員・ご家族の方、全部で36名の方に受けていただきました。その診断結果に対して適切な説明、アドバイスをさせていただくということも、例会の始まる前に相談なさっている姿をよく拝見いたしましたので、それもうまく機能したのかなと思います。

もう一つ実施項目として挙げておりました、委員または外来講師による健康卓話を行うということにつきましては、今年度は残念ながらプログラム委員会のほうからリクエストがございませんでしたので、来年度の委員長、よろしくをお願いいたします。

この1年の間に、大変残念ながら林田壽昭会員が亡くなされました。ご冥福をお祈りいたしております。それ以外にも、健康を理由に休会されている方もおられますので、体をしっかり治していただいて、また例会やロータリーの奉仕活動に元気に参加していただくことを願っております。

今年度は既に6月中ばの段階で気温が35度を超えてきております。猛暑が予想されますので、水分や睡眠をしっかり取って、ご健康に留意いただき、元気にロータリー活動をしていただきますようお願い申し上げます。

○趣味の会委員会 垣本喜己委員長
今年度は、謡曲、歴史を探訪する会、写真、音楽クラブ、恵比寿クラブ、ゴルフ、登山部、ランニングクラブの8部門で活動がありました。音楽クラブでは、活動範囲を広げ、楽しい合唱を披露していただきました。登山部は、2日間にかけて立山の険しい山を踏破し、無事に帰還され、充実感を味わったとのことでした。ランニングクラブは、奈良マラソンにエントリーし、堀川先生を筆頭に完走してくれました。ゴルフでは、今回20年ぶりにライオンズクラブとの親睦ゴルフコンペを再開し、両クラブとも親睦を深めることができました。なごやかなムードで、表彰式が行われました。今後もまたローラ会を開催する予定になっております。恵比寿クラブも久しぶりに再開しました。今回は、香芝のイタリアン料理のマガジノで、和気あいあいと談笑しながらおいしくいただきました。今後、ほかにやりたい趣味がありましたら、来期に向けて働きかけたいと思いますので、お声がけください。

○奉仕プロジェクト委員会 山田 博委員長
私からは、主な内容をご紹介させていただきます。あとは各委員長様からご報告をお願いいたします。

最初に、職業奉仕委員会ですけれども、川村委員長には、エッセンシャルワーカー表彰ということで、警察署と病院の表彰を行っていただきました。社会奉仕委員会は、吉岡委員長の下で、大和高田歴史ウォークと題した事業を行い、多数の参加をいただき、無事、成功に導かれました。青少年奉仕委員会は、12月に少年少女野球教室、ラグビー教室と2つ開催いただきました。ローターアクト委員会は、川中教正委員長の下で、今年度は多数の新入会員をお迎えすることができ、かなり成果が上がったものと考えております。国際奉仕委員会の高木委員長ですけれども、残念ながら国際大会には参加していただけませんでした。オーストラリアのリズモー西RCとの連絡を取っていただくなど、いろいろと活動していただいたと考えております。

米山奨学会委員会は、松村實昭委員長の下で、国際交流について、我々のロータリークラブが考えていることを引継ぎながら、本年度の活動をしていただいたと思います。私の個人的な意見としては、前年度脇本会長の時にも話題に出ましたが、米山奨学会については、我々と地区の考えに若干の誤差があります。ただし、国際交流という内容については、

ロータリーの基本の中に入っておりますので、もちろん、池木会長の下、続けているわけですが、我々と地区・RIとの違いも若干見え隠れするようでもありますので、これからも次年度に引継ぎながら、同じような方向で進んでいきたいと考えております。

池木会長の下で無事に活動を終われたかなと思います。本当にありがとうございました。

○職業奉仕委員会 川村英亮委員長
エッセンシャルワーカー表彰として、11月26日に高田警察署、香芝警察署から各3名、そして大和高田市立病院から2名の方を例会にお招きして、表彰させていただきました。物品10万円相当の目録贈呈と、表彰対象者に対して、記念品の贈呈をさせていただきました。この後、高田警察署の朝山署長、香芝警察署の山口署長、それと市立病院の向川院長に、地域の安全と健康をテーマに非常に興味深い卓話をしていただきました。

次に、12月3日と10日の例会でフードドライブ事業をさせていただきました。このときに多数の食料と同時に現金40万円をご寄附いただきました。これを用いましてお米を買いつけて、11月から12月22日にかけて、当クラブ所管の香芝市、葛城市、大和高田市、広陵町の各社協を通じて、地域の生活困窮家庭の子どもたちに、すてきなクリスマスプレゼントとともに、食料品その他を寄贈させていただきました。

特に、大和高田市では、フードバンク大和高田と連携して、当クラブメンバーとローターアクトクラブの協力も得て、12月22日にフードドライブで集めたこの食料とクリスマスプレゼントを直接、子どもたちに手渡しさせていただきました。そのときに、子どもたちから「ありがとう」という言葉をもらい、小さい子どもたちがお菓子の袋を開けて、何が入っているのかのぞき込む姿を見て、本当にこういう活動をしてよかったなという思いがしました。

それと、最後に香芝警察署と高田警察署の協力を得まして、5月21日(土)に小学生による交通安全ポスターの表彰式を行いました。優秀作4点、佳作10点を選びました。盛況のうちに式典を終え、その後、交通安全啓蒙運動として、警察の方々と一緒にポスターを1枚ずつ渡して、啓蒙運動をさせていただきました。

池木会長の強い要望により、例年より多めの活動内容でしたけれども、大変ではございましたが、非常に有意義な1年を過ごさせていただきました。どうもありがとうございました。

○社会奉仕委員会 吉岡弘修委員長
今年度はメイン事業といたしまして、池木会長、丸野幹事肝入りの事業といたしまして、大和高田歴史ウォークと題し、大和高田市のランドマークである高田川の歴史を再発見しようという活動をさせていただきました。

昨年末あたりから準備に入らせていただきまして、村井会員にいろいろとお計らいいただきまして、大和高田市の教育委員会を通じて各学校に出向いたり、大和高田ボランティアガイドの会につないでいた

だき、今回、歴史ウォークの最も重要な市内の説明の部分を担っていただきました。

そして、サッカーチームのディアブロッサ高田FCや野球チームの高田ボーイズなど、クラブチームへの参加依頼につきましては、副委員長長の吉川利幸会員にいろいろとご尽力をいただきました。その結果、150名にも及ぶ参加者を集めていただきました。本当に大いに盛り上がり、すばらしい活動となりました。

例会終了後、毎回のように委員の方にも集まっていたいただきまして、いろいろと打合せし、いいアイデアをいただきました。多くの協賛品も拠出していただきました。参加者の方にも大いに喜んでいただけたことと思っております。

今回は屋外事業ということで、安全対策に最も気を使いました。対応していただくロータリアンと実際のコースを歩いて下見をし、ガードマンの配置の確認や、スタンプ押し場の位置など、危険箇所をチェックして回りました。実体験していただくことで、当日の役目と認識を各自持っていただくことができました。

また、高田警察署へ何度か足を運ばせていただきまして、道路や歩道の使用するための許可のお伺いを立てたり、警備員の配置を説明し、いろいろアドバイスをさせていただきましたが、本当に何も事故とか起こらずに無事終了できたことが何よりでございました。

今回の事業を通じ、延べ60名以上のロータリアンの方に何らかの形で参加していただきましたこと自体が、最大の成果ではなかったかというふうに思っております。皆様、1年間どうもありがとうございました。

○青少年奉仕委員会 當麻泰己委員長
活動内容といたしましては、12月1日にさとやくスタジアムにおきまして、第16回少年少女野球教室を開催させていただきました。講師として元プロ野球選手の福留様、岩瀬様、湊川様、そして大和高田クラブの皆様にご指導いただきました。その中で、やはり子どもたちは、プロ野球選手の技、打撃や守備などを見て感動しておりました。

私も子どもの頃は、こう見えても野球少年で、プロ野球選手を見てわくわくしていたのを思い出しました。ロータリアンの皆様にも16名の方にご参加いただきました。大成功に終えることができました。

そして、翌週、12月8日にはラグビー教室を御所実業高校グラウンドにて開催させていただきました。当日、雨か雪で開催が危ぶまれましたが、天候のほうももちまして、寒い中ではございましたけれども、約500名の皆様にご参加いただきました。御所実業ラグビー部の皆様方に実技指導をいただき、また、ラグビーのリーグワンの選手の皆様とアナウンサーの赤木さんとのトークショーもございまして、子どもたちも喜んでくれていました。

5月16日から18日までRYLAがございまして、村島硝子商事株式会社からご参加いただきまして、大変良かったという感想をお聞きしております。次年度の卓話にて報告されると思いますので、楽しみにしております。